

2024年度 年次報告書

Annual Report 2024

発行/2025年(令和7年)6月1日
発行者/認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ



認定特定非営利活動法人
がんサポートコミュニティ

〒105-0001
東京都港区虎ノ門 3-10-4 虎ノ門ガーデン 214
TEL: 03-6809-1825 FAX: 03-6809-1826



<https://csc-japan.org/>

第76回保健文化賞受賞で厚生労働大臣表彰 天皇・皇后両陛下に拝謁の栄誉を賜る

第76回保健文化賞受賞で 厚生労働大臣表彰を受ける



がんサポートコミュニティは、2001年から多年にわたるがん患者やその家族への心理社会的支援を継続していることと、がん対策の15年を振り返り作成した『がん対策白書』を発刊し、第4期がん対策推進基本計画で患者・市民参画の導入に貢献した業績を評価され、2024年9月2日(月)に、がん患者会・支援団体としては初めてとなる第76回保健文化賞を受賞しました。

同年12月19日(木)に、明治記念館・鳳凰の間(東京都港区)で、第76回保健文化賞の贈呈式・祝賀会が行われ、理事長・渥美隆之と事務局長・大井賢一が出席しました。



理事長・渥美隆之は、福岡資麿・厚生労働大臣の代理として迫井正深・医務技監より「厚生労働大臣賞」を授与いただきました。

1950年に創設された保健文化賞は、第一生命保険株式会社が主催し、厚生労働省・朝日新聞厚生文化事業団・NHK厚生文化事業団の後援によって、生活習慣病対策・高齢者や障がい者への福祉・海外での医療や疾病対策など、その時代におけるさまざまな課題に対して、地域に密着した地道で身近な活動や実際の活動を10年以上にわたり取り組む団体・個人に贈られるものです。



本賞贈呈式・祝賀会翌日の20日(金)に、理事長・渥美隆之は、がんサポートコミュニティを代表して、皇居・御所(東京都千代田区)で天皇・皇后両陛下に拝謁の栄誉を賜りました。

がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2024を開催

2024年10月19日(土)～20日(日)に、L stay & grow南砂町(東京都江東区)で、公益財団法人日本対がん協会と共催して「がんを正しく知り、がん対策を学ぶ研修2024」を開催、2日間で221人に参加いただきました。

第1日目は、がん研究/がんと就労/がんと仕事とお金/がんと運動/がんと創薬/死生学/がんと感染症の7講座を開講しました。第2日目は、精神腫瘍学/

緩和ケア/核医学/がんと遺伝子の4講座を開講しました。



加えて、厚生労働省保険局医療課主査(講演依頼時:健康・生活衛生局がん・疾病対策課主査)の金川弦暉氏より「がん対策」をテーマに第4期がん対策推進基本計画策定後のがん対策推進協議会を含む審議会・検討会の患者や市民に期待される役割についてお話しいただきました。また、全国がん患者連合会理事長・天野慎介氏より「患者・市民参画」をテーマに自らのがん体験、がん対策推進協議会への参画についてお話しいただきました。



なお、本講演は第1期がん対策推進基本計画の策定に当たってがん対策推進協議会座長を務めた、がんサポートコミュニティ会長/日本対がん協会会長・垣添忠生が座長を務め、がん対策に患者・市民として関わることの意義について来場者とともに考える時間を共有しました。



令和6年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2024を開催

2024年12月16日(月)に、南大塚ホール(東京都豊島区)で、豊島区と共催して「令和6年度豊島区がん対策推進特別講演会&がん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサート2024」を開催しました。月曜日の開催でしたが、117人もの市民の皆様にご来場いただきました。

第I部の令和6年度豊島区がん対策推進特別講演会では、豊島区健康部長・木山弓子氏の開会のあいさつにはじまり、事務局長・大井賢一(日本臨床死生学会常任理事)が人生会議(ACP)のその前に考えておくべきこととして「死について語ろう、より良く生きるために」と題し、お話しさせていただきました。後半には理事長・渥美隆之と「人間が死に向かう兆候」について対談が行われました。



第II部のがん体験者が歌う合唱団いきのちからコンサートは、混声3部合唱「ふるさとの四季」唱歌メドレーにはじまり、ロッキーニ作曲「信仰」を女声合唱で披露しました。毎年恒例の来場者との合唱体験では「あら野のはてに」のメロディパートを来場者に向けて合唱団いきのちから指揮者・湯川晃が指導、その後、コーラスパートを合唱団が歌い、会場一体でクリスマス気分を盛り上げました。



同曲の作詞家・大木惇夫は広島県出身の従軍詩人、第二次大戦で故郷に原爆投下された思いを込めてこの詩を書かれたと言われ、今年のノーベル平和賞受賞が日本原水爆被害者団体協議会だったことから、平和への思いを来場者と共に捧げました。

Japan Cancer Survivors Day 2024に出展

公益財団法人日本対がん協会が毎年6月に主催しているJapan Cancer Survivors Dayは、がんサバイバーとご家族のためにがん治療と療養生活に関する支援情報を提供するイベントです。2024年6月2日(土)に、国立がん研究センター新研究棟(東京都中央区)で、「がんと診断された方への最初の処方箋ーわたしらしく生きるためにー」をテーマに開催され、22団体と共にがんサポートコミュニティもブース出展しました。



大阪マラソンで毎年チャリティランナーを選抜いただいている小野薬品工業株式会社で社内講演会



小野薬品工業株式会社は2018年より大阪マラソンで、がんサポートコミュニティのチャリティランナーを社内選抜いただいています。2024年12月3日(火)に、同社本社(大阪府大阪市)で、事務局長・

大井賢一が対面/オンラインのハイブリッドによる社内講演会に登壇、対面50人/オンライン209人もの社員に寄付金の使途のご説明と、24年目となる日本での地域に根差した看護師・臨床心理士・社会福祉士といった専門家によるがん患者支援活動をご紹介させていただきました。

Pharma Delegates Luncheon Meetingで講演



2024年12月11日(水)に、東京アメリカンクラブ(東京都港区)で、Pharma Delegates Luncheon Meetingが開催、事務局長・大井賢一が登壇し、82人ものメンバーに「Advancing Health Equity in Cancer Care and Work to Reduce Cancer Disparities: Multi-Partnership-led Grassroots Advocacy (がん医療における健康の公平性の推進とがん格差是正に向けた取り組み: マルチパートナーシップ主導の草の根アドボカシー)」と題し、がんサポートコミュニティと傘下のがん対策総合機構の活動を紹介させていただきました。Pharma Delegatesは55年以上前に創設された国内外の医薬品及びヘルスケア関連企業のエグゼクティブの集まる非営利任意団体です。関心を同じくする会員が相互の知識の向上、親睦を深めること、更に専門家の講演を通じて現在の医薬品及びヘルスケア産業の問題について意見交換と理解を深めることなどが目的となっています。

がんサポートコミュニティのがん患者支援プログラムに参加を希望される方、活動への支援を希望される方は、事務局までご連絡ください。詳しくは二次元コードからホームページをご覧ください。

☎ 03-6809-1825

✉ info@csc-japan.org





甲府サポートグループ 2024年秋より開始

甲府サポートグループは、山梨県甲府市近郊にお住まいのがん体験者のために、特定非営利活動法人がんフォーラム山梨の協力を得て、2024年9月14日(土)から開始しました。原則毎月第2土曜日に、やまなし地域づくり交流センター等(山梨県甲府市)で、2023年度・2024年度ファシリテーター研修を修了した山梨県で働く看護師の山岸良治・大島智恵がファシリテーターとして運営しています。



2024年度ファシリテーター 研修を開催

2024年10月19日(土)に、L stay & grow南砂町(東京都江東区)で、病院でがんサロン運営やがん相談に携わる看護師・社会福祉士・精神保健福祉士・臨床心理士の11人と現任ファシリテーターが参加して、2024年度ファシリテーター研修を開催しました。

現任ファシリテーターが講師を務め、がんサポートコミュニティのコンセプト／ファシリテーション／困難事例への対処について学び、現任ファシリテーターが模擬患者となり、ファシリテーター体験をしていただきました。事例検討ではスーパーバイザーとして九州大学／跡見学園女子大学名誉教授・野島一彦氏に同席いただきました。



ありがとう 大阪マラソン2025



34,000人が駆ける大阪マラソンを前に、ランナーの受付やグッズの販売などを行う大阪マラソンEXPO2025が2025年2月22日(土)～23日(日)に、インテックス大阪6号館(大阪府大阪市)で開催されました。チャリティゾーンには寄付先団体の一つとしてがんサポートコミュニティも出展しました。がんサポートコミュニティのチャリティランナー21人には、赤・黒・白色を配したアシンメトリーデザインのオリジナルチームTシャツをお渡しして完走への応援と寄付への感謝の気持ちをお伝えしました。

小野薬品工業はじめ、がんサポートコミュニティのチャリティランナーの皆様には、がんサポートコミュニティのがん患者支援活動のために180万円もの寄付金を集めてくださいました。ありがとうございます。

また、チャリティランナーに向けてがんサポートコミュニティ賛助法人会員ルネサンスのランニングマスターの高橋良氏による5回にわたるランニングアドバイス配信にご協力いただきました。ありがとうございました。



大阪市内の名所・ランドマークをめぐる大阪マラソン2025が2025年2月24日(月)に、小雪舞う冬空のもと、大阪市内(大阪府大阪市)で開催、がんサポートコ

ミュニティーは大阪城公園のゴール前42km地点で連載45周年を迎える国民的人気漫画「キン肉マン」と他の寄付先団体とともにランナーを応援しました。



この大会は、大規模な市民マラソンとして地位を築いてきた大阪マラソンと国内で最も歴史のあるびわ湖毎日マラソンが、2022年に統合されたもので、折り返しの回数が減るなどコース変更され、高速レースが期待されています。がんサポートコミュニティのチャリティランナー21人のうち、16人が完走、2人が途中棄権、3人が出走できない結果となりました。



2025年2月27日(木)読売新聞夕刊に直腸がんステージIVで大阪マラソンに初挑戦との記事に、事務局長・大井賢一のサポートグループのような「同じ境遇の人との交流が力になることも多い」とのコメントと東京や大阪などでの活動について紹介いただきました。





2024年度 会計報告 The 2024 financials

活動申告、2025年3月31日終了 Statement of activities, year ended March 31, 2025

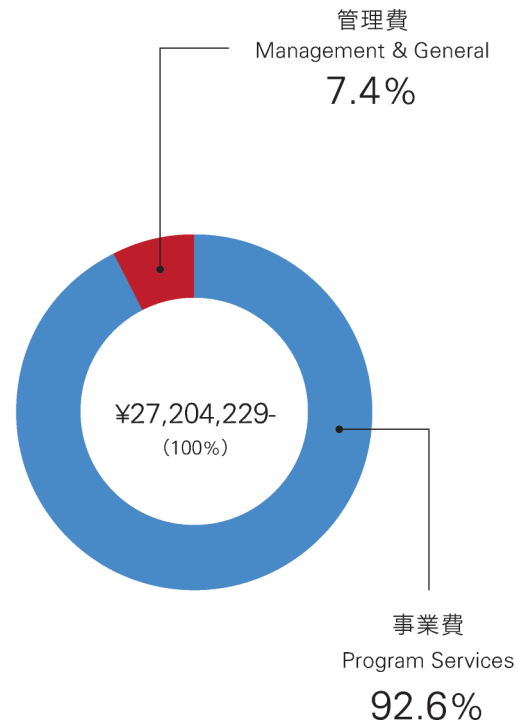
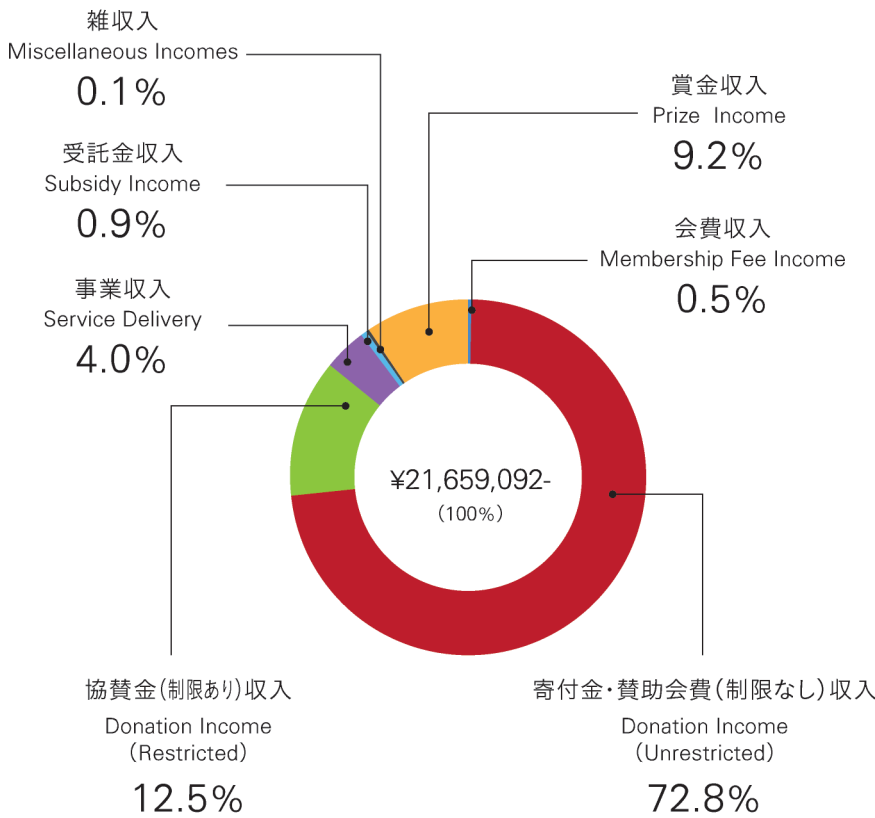
	制限なし UNRESTRICTED	制限あり RESTRICTED	計 TOTAL
経常収入 REVENUES			
正会員費収入 Membership Fee Income	100,000		100,000
寄付金(賛助会費・協賛金を含む)収入 Donations Income	15,757,929	2,700,000	18,457,929
受託金収入 Subsidy Income		186,000	186,000
事業収入 Service Delivery	864,110		864,110
心理社会的支援活動 Medical Consultation	35,000		35,000
技術的支援活動 Relaxation	544,500		544,500
普及啓発活動 Education/Outreach	70,000		70,000
調査研究及び情報交換 Research	214,610		214,610
雑収入 Miscellaneous Income	18,053		18,053
金利収入 Interest Income	33,000		33,000
	2,000,000		2,000,000
経常収入計 Total Revenues	¥18,773,092	¥2,886,000	¥21,659,092
経常費用 EXPENSES			
事業費 Program Services	24,318,229	2,886,000	27,204,229
管理費 Management and General	2,160,174		2,160,174
経常費用計 Total Expenses	¥26,478,403	¥2,886,000	¥29,364,403
当期経常増減額 Change in Net Assets	- ¥7,705,311		- ¥7,705,311
前期繰越正味財産 Net Assets at Beginning of Year-restated			¥42,317,872
次期繰越正味財産 Net Assets at End of Year			¥34,612,561

単位:円 / Unit:Yen



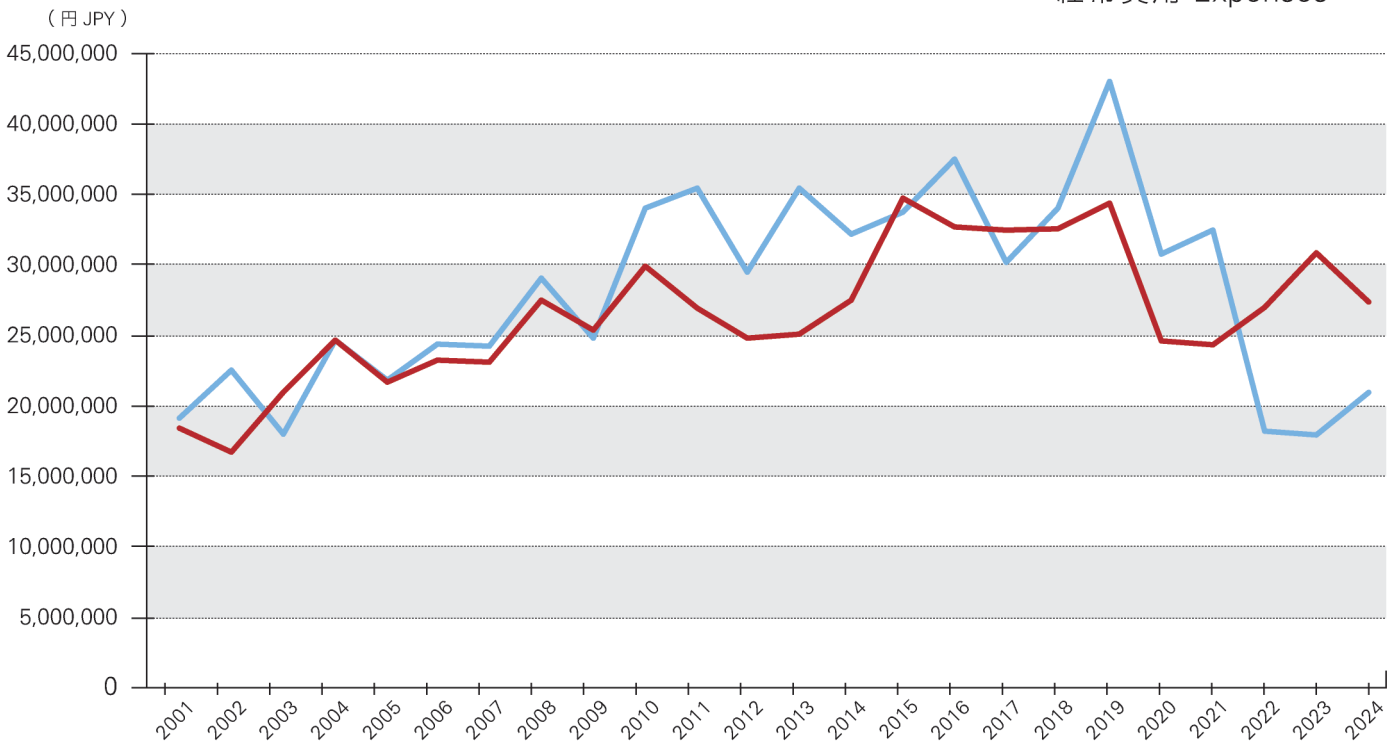
経常収入 Revenues

経常費用 Expenses



会計収支の推移 Transition

— 経常収入 Revenues
— 経常費用 Expenses



会計収支の推移 / Fig. 1 Fiscal Balance Trends



2024年度活動実績 The 2024 activity results

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
サポートグループ Support Group	868	404	320	638	700	694
① 導入(短期)グループ Introduction Group	34	0	0	0	0	0
② 部位を問わないグループ Group Regardless Of Cancer Site	69	52	9	88	81	79
③ 部位別(継続)グループ Group By Cancer Site	48	16	41	-	-	-
④ 状況別(継続)グループ Group By Circumstance	498	209	165	331	373	347
⑤ 出張サポートグループ Off-Site Group	219	81	60	165	196	235
⑥ オンライングループ On-line Group	-	-	5	54	50	33
オンラインカフェ On-line Cafe	-	46	40	-	-	-
リラクゼーション Relaxation	647	187	272	540	529	486
⑦ 自律訓練法 Autogenic Training	21	11	13	19	5	10
⑧ ヨーガセラピー Yoga Therapy	144	51	65	102	146	108
⑨ アロマセラピー Aroma Therapy	11	0	7	22	31	22
⑩ 音楽療法 Music Therapy	471	125	187	397	334	333
⑪ 体操教室 Physical Exercise	-	-	-	-	13	13
医療相談 Medical Consultation	30	11	8	10	5	5
就労相談 Work Consultation	-	-	-	-	8	4
患者・市民参画研修 Patient and Public Involvement Training	-	-	-	-	157	221
計 Total	1,545	602	600	1,188	1,399	1,410

単位:人 / Unit:Person

※2025年3月31日 集計



感謝を込めて! With Special Thanks!

企業 Companies

アステラス製薬株式会社
 アリルジュ株式会社
 医療法人社団晴山会 平山病院
 エーザイ株式会社
 MSD株式会社
 小野薬品工業株式会社
 株式会社S・S・I
 株式会社オムニバス
 株式会社読売新聞東京本社
 株式会社ルネサンス
 住友生命保険相互会社
 第一三共株式会社
 中外製薬株式会社
 西本Wismettacホールディングス
 日本イーライリリー株式会社
 日本化薬株式会社
 ノバルティスファーマ株式会社
 ファーマライズホールディングス株式会社
 ファイザー株式会社
 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
 PDRファーマ株式会社
 メルクバイオフーマ株式会社
 ヤンセンファーマ株式会社

個人 Individuals

渥美 隆之	島野 圭子	奈良 真由美
阿部 一男	鈴木 良彦	西野 明樹
幾田 美智子	代田 治彦	野澤 博子
池田 豊	須田 育	橋本 小百合
一戸 久美子	滝上 博明	花光 康二
宇佐見 順子	田口 隆	福井 里美
梅山 香予子	竹内 美沙保	福島 潔
太田 さつき	竹口 雅之	古田 譲
織田 輝明	竹生 幹夫	槇口 晴美
小野寺 桂子	田子島 由紀子	松岡 美佐子
亀井 宏明	田中 郁夫	松崎 圭祐
川口 明美	田中 義英	松本 美智子
川向 光彦	田村 江里子	水野 久子
木曾 勤	田中 マユミ	味八木 保雄
串 哲也	千秋 敏	安江 雪子
久山 裕子	土屋 妙子	山田 貞義
小林 由美子	内藤 忍	山本 重夫
斉藤 立代	中川 千恵	横田 雪路
澤渡 勝	中村 眞佐江	渡部 哲夫
穴戸 信次郎	行木 宏枝	

その他、個人からの遺贈が1名、
 顕彰を辞退された寄付者が65名います。
 そして、大阪マラソン2025に関係する寄付者が258名います。



がんサポートコミュニティ
 理事長
 渥美隆之

ご支援いただいている皆さまへ

がんサポートコミュニティの歴史は、外科医であった竹中文良博士が自らの大腸がん体験から患者が抱える苦悩を知り、2000年に“がんひとり向き合えない”社会をめざす米国Cancer Support Community (当時The Wellness Community)で研修を修了した時に始まります。2010年に竹中博士は新たな肝臓がんとの闘いの後、家族に見守られながら永眠されました。私たちは竹中博士の遺志を継ぎ、多くの専門家の協力を得て、がん患者支援活動に専心しています。2017年に東京都知事より認定NPO法人として認定され、寄付者の皆さまには税制優遇措置を受けていただけるようになりました。

私たちが四半世紀に及ぶがん患者支援活動を継続できたのは、支えてくださる皆さまの志のお陰と心より感謝を申し上げます。同時に、日本におけるがん患者支援活動を発展させてゆくパートナーシップに期待しています。



24年間の支援活動 Over 24 years of support activities

がんサポートコミュニティは、生きる希望を支える活動を、より確かなものにするために歩み続けてまいりました。私たちは、“絆はがんに負けない”と信じています。

The Cancer Support Community Japan have made strides over time to ensure that support your hopes to live. We believe that “community is stronger than cancer.”

the wellness community
tokyo
cancer support, education and hope



がん対策総合機構
Cancer Policy Institute Japan



2001

竹中文良博士は東京・赤坂にジャパン・ウェルネスを創設

2009

厚生労働科学研究がん対策のための戦略研究「緩和ケア普及のためのプロジェクト」から柏市で心理社会的支援としてサポートグループを開始

2011

大阪マラソンに寄付先団体としてチャリティマラソンに参加

2017

認定NPO法人として東京都より認定を受ける

2019

第6回エクセレントNPO大賞 & 組織力賞をW受賞

2022

がん対策総合機構を新設

2024

甲府サポートグループを開始

第76回保健文化賞を受賞

2006

竹中文良とジャパン・ウェルネスはがん患者とその家族への心のケアの貢献から第54回菊池寛賞を受賞



2010

第一三共Presents 家族のきずなシアターを後援



2013

大阪マラソンの寄付金で大阪市で心理社会的支援としてサポートグループを開始



2018

がん患者支援アプリ「CAN.」開発



2020

コロナ禍にあって在宅から心理社会的支援に参加できるオンラインカフェを開始



2023

第4期がん対策推進基本計画の策定に参画

メスキュード医療安全基金受賞

